

第2回「鹿児島地域 地域振興の取組方針」策定地域懇談会 議事概要

- 1 日時 平成30年11月26日(月) 15:00～17:00
- 2 場所 鹿児島地域振興局5階大会議室
- 3 出席者
 - (1) 地域懇談会委員 13人(局長除く。欠席2人)
桃北委員, 丸田委員, 井之脇委員, 塩川委員, 永山委員, 徳田委員, 田中委員, 武委員(代理), 吉崎委員, 久木留委員, 池田委員, 迫委員, 倉野委員
 - (2) 県(鹿児島地域振興局) 18人
局長, 総務企画部長, 総務企画部(総務企画課), 保健福祉環境部(健康企画課, 地域保健福祉課), 農林水産部長, 農林水産部(農林水産総務課, 農政普及課, 農村整備課, 林務水産課), 建設部(建設総務課), 鹿児島教育事務所(総務課)
 - (3) 管内市村政策担当課長等 7人
 - (4) オブザーバー(鹿児島地域振興局管内選出県議会議員) 5人
永田議員, 宝来議員, ふくし山議員, 東議員, いわしげ議員
- 4 局長あいさつ
- 5 議事
 - (1) 「鹿児島地域 地域振興の取組方針」(案)について事務局から説明
 - (2) 意見交換で出された主な意見
 - 情報の処理・活用に対する取組がより加速してくる。鹿児島の将来を担う子どもたちが情報をしっかり発受できる環境整備とともに, 知・徳・体の調和のとれた教育が大事。
 - 世界遺産を活用した観光地づくりに関して, 集成館反射炉で使われた耐熱レンガには薩摩焼の技術が活用されたことを入れていただきたい。
 - 来訪神について。日本国内の他の地域と, 連携してPRを図っていくと小さい村, 小さい町かもしれないが取組が広がっていくと思う。
 - 県内プロスポーツチームについては, 先日, タイミング良くJ2昇格が決まった。県内全体で支援を展開していこうと考えているので, 地元の盛り上げ方やクラブ, 官民一体となった盛

- り上げが必要だと思う。
- 地域スポーツの域を超えて、スポーツビジネスの枠組みに入ってきているのかなと思うので、ビジネスチャンスをうまく活用できればと思う。
 - 在宅医療・介護を進めていく上で、携わる医療従事者、介護者の確保や患者等の家族を支える仕組みをどうするのが課題である。
 - 移住者などに対して、長く住んでもらえるためのソフト面の充実が必要。
 - 地球環境の保全に関連して、最近話題となっているマイクロプラスチックによる海洋汚染は、鹿児島湾などでも見られるので、取組方針に加えて欲しい。
 - 少子高齢化の進行に伴う後継者不足がどの分野でも課題
 - ・医療・福祉分野では、在宅医療に係り、訪問診療を行う医師や介護職員が足りない。
 - ・農業、水産業では、組合員の高齢化、組合員数の減少により、生産性の確保、高齢者の事業継続などに対する取組が必要。
 - ・地域づくりでは、若い方々の人材不足に対し、企業体も含めて、ボランティアなどの社会貢献のできる場というのをしっかり位置づけていけるような体制づくりが必要。
 - 働き手不足に関して、障害者に対するマッチングがうまくいっていないと思う。
 - 外国人技能実習生が増えている中で、受入れに当たっての方針・考え方を検討して欲しい。
 - 市町村災害廃棄物処理計画策定を促進するにあたり、8・6水害の時の膨大な量のゴミの処理例など生きた経験、継承されてきたことを、各市町村にアドバイスして欲しい。
 - 光ケーブル整備の取り組みを行うことで、人口対策、定住対策を進めている。若者が地方に定住するには、スマートフォンの不感地帯をなくすことが重要。
 - 林業では、費用のことを考えると、再造林をしないも者もある。山林における自然エネルギーの取組についての検討も必要では。
 - 観光に関して、自然、歴史、文化など総括的に表現しているので、具体的な観光素材を盛り込んで表現してはどうか。
 - 取組項目の数が多いのではと思う。項目を減らして本当にやるべきことを優先順位をつけてやるのが効率的かつ時代にあっていると思う。
 - 全体のビジョンとは、順番を変えるとか、最優先課題を前の方に持っていくなど、より鹿児島地域振興局の特徴が見えるようにしてはどうか。
 - 取組方針や委員意見については、市村の総合計画や総合戦略などに活用したい。